

2020/10/15

(うとQ世話し「このままでは」崩しの、具体的な取り組み。手始めは民間外交から) 前の記事のように「このままでは」と、大それたことを言うだけでは、物事は進みません。実際に具体的に何かを始めないことには。

そこで、日々の改善努力を少しばかりしようかと。

以前にもお話ししましたが、日本語、ネパール語、英語の対訳単語帳を店頭のサインボードに板書しておりますが、それを今度は、新商品発売予告のリーフレットの裏に印刷したものを店内の各テーブルの上に置くことにしました。

新商品の発売が10月24日。それまでの間、その新商品発売予告の裏に、例の対訳単語帳を印刷したリーフレットを置いてお客様の目に留まるようにするわけです。

効能書きは、

「ご注文のお品が来るまでの間、退屈しのぎに、裏でもご覧いただき、ネパール語を使って遊びくださいませ。多少の時間潰しにはなるかもしれませんが、会話が更に弾むかもしれませんから」

とでも。

次は、上述のそれと同じものを10月24日以降三回にわたり、お客様の「冬のボーナス激減」に備え、多少ながらも需要喚起の為に、チラシとして新聞の中に入れて配る。

そうして、店内とチラシの表面(おもてめん)は同じ新商品の案内ですが、裏面は月ごとに更新されたネパール単語帳。

初回は9月店頭掲載分。二回目は10月前半分、三回目は10月後半分と更新していくわけです。

このチラシや店内のリーフレットにお客様が関心を示されて、お客様自身のスマホでお撮りになられ、ストックして戴き始めたらしめたもの。

そうして行く行くは、この地でネパール語を始め諸外国語、諸外国文化交流ブームでも起きればいいなあ、と思っております。

各国と我が国の民間外交の為に、そうなってほしいものだと、強く願っております。